

第一回学校関係者委員会（令和6年度分）議事録

開催日時：2025年5月23日(金) 13:00-14:00

開催場所：清風情報工科学院

出席：

<委員>

後山 尚氏 様 株式会社 ソフトウェアサービス [2013年3月卒業]
北谷 慎悟 様 コムシス株式会社[2019年3月卒業] ※オンライン参加
岡部 武 様 合同会社シュガーカット[2022年3月卒業]

<学校関係者>

平岡 憲人 清風情報工科学院 学校長
林 耕平 清風情報工科学院 学科長
友金 牧人 清風情報工科学院 副学科長
土井 佳巳 清風情報工科学院 教員

議事式次第

- ・開会
- ・学校長挨拶
- ・出席卒業生紹介
- ・学校の取組、目標等の意見交換

次回開催：2025年10月 予定

●学校長挨拶

学校関係者委員会は卒業生からフィードバックをもらえる重要な会議である。
社会に出てから役に立つような情報を頂けるとありがたい。

●コンピュータ学科前期報告

資料をもとに学科長・林から説明

●シリコンバレー研修報告

昨年度は未実施

費用の高騰で金銭面で学生にとっては参加が厳しくなっている

■学校関係者評価についての説明および意見交換

(1)教育理念・目標

毎週月曜日に行われている全校生徒に向けた朝礼も、学生・教職員ともに目標を再確認する場として、効果的に機能していると感じる。

A. 職員一同が教育理念・目標を共有して、より深く具体的に教育現場に活かしていけるように努力していきます。

(2)学校運営

教育理念・目標を踏まえたカリキュラムコンセプトをしっかりと立てられている。未実施であったシリコンバレー研修についてはどのように考えておられるか

A. シリコンバレー研修に参加した学生の成長は目を見張るものがあり、オンラインであっても今後も続けていきたいと考えている。しかし別の選択肢についても検討する必要性があると感じている

(3)教育活動

各企業が新入社員に何を期待しているか、その変化を学生が感じ取る必要があり、学校にはその為の準備をして欲しい。仕事ができる＝会社が欲しいではないリアルで人と関わる力、挨拶、返事ができる等の基本的なヒューマンスキルが大切になってくるのでそこを学校生活で身に付けてほしい。

A. コロナ以前にできていたことができなくなっている部分があると思われる。「朝の挨拶活動」を行いアナログ的なところから改善していく。また、学生数増加に伴い、細部にまで教育は行き届いていない部分もあるので今後強化していく。

(4)学習成果

Ⅰ 年次での基礎学力強化と資格取得を行う流れは正しいと思われるので今後も引き続き継続していただきたい。清風の学生は他校と比べて会社への応募数が少ないと感じている。第一希望の会社だけではなくもっと受けるべきだと思う。

- A. AI 時代に対応するため、専門用語を理解するための IT パスポート試験の取得が必須だと考えている。それを教育や授業につなげるかは今後工夫が必要。応募が少ない原因に学生自身の作品数が少ないことがある。クオリティは気にしなくてはならないがそれだけでは無いことを伝えていきたい。

(5)学生支援

就職の門は狭くなってきており、SPI 等の試験系を重視し始めている。面接等の練習やプログラミング等の技術も重要かと思うが、土台の上に技術があるのでまずは基礎を大切にしてほしい。

- A. 覚える、考える、整理する、表現する、説明する、表現することの大事さを伝えていきたい。基礎学力が重視される時代が来ている。すらら等を使って基礎学力の向上を徹底させる。

(6)教育環境

学生数増加に伴い専攻講師を増員したことは評価できる。学生の理解度は人それぞれなのでできる限りのサポートを行ってほしい。

- A. 引き続き学生の安全を第一に考え、状況に合わせた対応を行っていきたいと思います。今後は copilot が付随するので学内 PC を windows11 に入れ替える準備を進めていきます。

(7)学生の受け入れ募集

オープンキャンパスを年間 30 回以上開催されており、また学外広報活動では、高等学校内や会場での進学セミナーに参加し入学希望者に情報を伝える努力をしていると感じる。また、学校のホームページには学生作品・オンライン説明会等の情報が発信されていることで入学を検討する上での判断材料となっている。

- A. 入学希望者に対してよりわかりやすく本校の魅力や成果を伝える為、SNS で発信していく努力をしていきます。また、本学ホームページのリニューアルを行いました。

(8)財務

新入生が減少しているのは何か原因がありますか。

- A. 大学との兼ね合いもありデザイン・コンピュータ学科は入学者数が減少したので学生募集により力を入れていく。

(9)法令等の遵守

自転車に関する道路交通法が改正され、また、2026 年からは自転車の交通違反に反則金制度の導入となっている。留学生の事故が多いと聞くが大丈夫か。

- A. 学校周りは狭い道が多く自転車を使う留学生にとってはトラブルの元となっています。地元の阿倍野警察署とも連携し、また担任からも制度について周知していき、事

故トラブルが無いように取組んでいきます。

(10)社会貢献・地域貢献

地域の祭礼や清掃活動などに参加する機会はあまり無く、周辺地域の方々に学生の姿を見ていただけるため、大切にしているのが学習面だけでないということを知っていただける良い機会であり、継続して行ってほしい。ウクライナ学生支援会については国内外にも影響あり国際支援活動に貢献をしてほしい。

- A. 出来る事に参加して継続して、学外での活動を通じて人間教育をしていきます。ウクライナ避難支援活動を行い、学生支援に取り組んでいくので応援をお願いします。